

平成29年度 事務事業評価シート(実施計画事業 **経常事業**)

事業の概要	事務事業名	鳥獣等関係対策事業				担当部	地域活性化営業部				
	会計区分	一般会計				担当課	農政課				
	事業期間	平成26年度以前		～	平成30年度まで		担当係	農業振興係			
	基本施策・展開方向	5 産業・交流		19 農業		1 農業経営の安定化を支援します。					
	予算区分	款	6	項	1	目	3	大	5	中	1
	根拠法令・個別計画	鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律									
	目的	何・誰を対象に	小牧市民を対象に								
		どのような状態にするのか	鳥獣による生活環境、農作物に対する被害を防止し、生活環境の保全及び農業の健全な発展に寄与する。								
	内容(手段) 目的達成のためにどのような事業を実施したか	<p>◆平成28年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 有害鳥獣駆除委託 有害鳥獣の駆除、イノシシの捕獲檻等の管理、定期巡回などを行った。 委託期間…平成28年4月1日～平成29年3月31日、委託金額…1,372,680円 有害鳥獣処理委託 ヌートリア、アライグマ等、捕獲檻に捕獲された害獣の処理を行った。 委託期間…平成28年4月1日～平成29年3月31日、委託金額…(単価契約)1回の処理6,180円 移入種駆除委託 公共水路のジャンボタニシ及び卵の駆除を行った。 委託期間…平成28年7月1日～平成28年8月31日、委託金額…664,416円 カラス駆除委託 カラスの駆除を行った。 委託期間…平成28年7月1日～平成28年8月31日、委託金額…955,800円 業務用備品購入 イノシシを捕獲するための檻2基とヌートリア等を捕獲するための檻(3基)を購入した。 購入金額…288,780円 スズメバチ等巣駆除補助 スズメバチ等の巣駆除にかかる費用に対し、補助率1/2(上限5,000円)の補助を行った。 <p>◆28年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 有害鳥獣等駆除委託料…2,532,960円 移入種駆除委託料…664,416円 業務用備品購入費…288,780円 スズメバチ等巣駆除補助金…569,500円 <p>◆29年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 有害鳥獣等駆除委託料…3,014,000円 移入種駆除委託料…665,000円 業務用備品購入費…245,000円 スズメバチ等巣駆除補助金…750,000円 									
	受益者負担	無									

		単位	H26決算額	H27決算額	H28決算額	H29予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	3,068	4,879	4,056	4,674	
		正職員	従事者数	人	0.50	0.50	0.50	0.50
			人件費	千円	2,814	2,814	2,814	2,814
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計	千円	5,877	7,693	6,869	7,488	
	対前年比	%		130.9	89.2	109.0		
財源	一般財源	千円	5,877	7,693	6,869	7,488		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名		単位	H26	H27	H28	H29
	績	害獣の捕獲・処理 (イノシシ、アライグマ、ヌートリア等)	目標	件	—	—	—
実績			件	168	121	101	
		目標					
		実績					
業	成果指標名		単位	H26	H27	H28	H29
	カラスの捕獲数	目標	件	1,150	1,000	1,000	1,000
実績		件	617	551	618		
績	イノシシの捕獲数	目標	件	—	—	—	—
		実績	件	0	10	3	
		目標					
		実績					
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成28年度の実施結果	事業の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 有害鳥獣駆除委託の成果については、カラス600羽、ヒヨドリ16羽、ドバト・ハト20羽、ムクドリ9羽、キジ18羽、ヌートリア11頭、イノシシ3頭であった。 有害鳥獣処理委託の成果については、アライグマ11頭、ヌートリア13頭であった。 カラス駆除委託の成果は、カラス18羽であった。 スズメバチ等巣駆除補助の成果については、114件の申請があった。 					
	事業実施における課題		<ul style="list-style-type: none"> イノシシの目撃情報や農作物への被害情報が27年度に比べ増しているため、イノシシを田や畑から防除し、捕獲のための対策を講ずる必要がある。 					
	平成29年度の実施内容	29年度における実施内容や結果見込み	<ul style="list-style-type: none"> 害獣等の捕獲・処理については、28年度に引き続き委託・補助事業を進めるとともに、イノシシの捕獲用檻を新たに購入し、イノシシの捕獲頭数を増やすもの。 					
	平成30年度の事業の方向性	方向性の判定	縮小	対象や手段の絞込み等により、事業のボリュームを縮小すべきもの				
平成30年度の事業の方向性	削減額・削減対象	事務事業評価による額	55	千円	予算区分	18	節	節
	判定理由・削減内容	<ul style="list-style-type: none"> 事務事業評価の結果、これまでの取り組みの成果を見定める時期であり、事業費を削減しても支障はないものと思われる。そのため、事業内容を精査し、第18節の業務用備品購入費より鳥獣の捕獲用檻の購入費について55千円の削減を図る。 						
平成30年度の事業の方向性	30年度以降の実施内容	引き続き、鳥獣害の駆除業務や檻の設置などを実施し、鳥獣による農作物への被害防止に努める。						

二次評価	方向性の判定	判定理由
	縮小	一次評価のとおり。 平成30年度以降の事業費（一般財源）は、原則的に、平成29年度当初予算の金額から本年度の事務事業評価による額を控除した金額を上限とするとともに、引き続き、効果的・効率的な事業実施に努められたい。